

報告文 業務表彰受賞について

平成28年度北海道開発局優良工事等（業務）表彰において、2業務の局長表彰の受賞ならびに3業務の部長表彰を受賞しました。日頃ご愛顧いただいております関係各位の皆様に厚く御礼申し上げます。

■北海道開発局優良工事等（業務）表彰 局長賞

『札幌内川ダム施設検討業務（帯広開発建設部）』

管理技術者 横山 篤

『留萌開発建設部管内 道路整備計画検討業務（留萌開発建設部）』

管理技術者 石川 由憲

■北海道開発局優良工事等（業務）表彰 部長賞

『北村遊水地付替道路予備設計外業務（札幌開発建設部）』

管理技術者 宮古 智

『北海道縦貫自動車道 七飯町外 宿野辺川橋詳細設計業務（函館開発建設部）』

管理技術者 塩原 龍法

『一般国道274号 日高町 日勝峠構造物施工検討外一連業務（室蘭開発建設部）』

管理技術者 鈴木 正良

編集後記

昨年の「関東・東北豪雨」は記憶に新しいところですが、今年の4月14日以降に相次いで発生した「熊本地震」は熊本地方に大きな被害をもたらしました。熊本県の被災地においては、その復興も道半ばという状況ですが、本道においては8月17日の台風7号以降、9号、11号、10号が上陸・接近し、昭和56年洪水以来の大災害となりました。

特に、8月30日から31日にかけての台風10号は、被災地の観測史上最多を記録する降雨であり、十勝地方では2名の尊い命が失われ、今なお2名の方の行方が分からない状況になっています。心よりご冥福をお祈りいたします。

今回、四つの台風が連続して本道に接近または上陸しましたが、その土木被害、農業被害は甚大であり、被災地の「生命と財産」を守るため、地元の建設業の皆さんは不眠不休で被災地の安全確保に努めました。一方、コンサル業においても、被災直後の河川水位が高く、道路も寸断されている中、初動調査を行い被災状況の把握に努めました。

このように、未曾有の大災害に見舞われた時こそ、われわれ「土木技術者」が「力」を発揮するときであり、その存在価値がある、ということを改めて認識したところです。

弊社におきましても、このような時こそ、全社を挙げて関係者の皆様の負託に応えるべきの方針の下、早い段階から被災地に入りました。初動調査は、被災の全容を明らかにすることが目的であり、弊社では各部の精鋭に加えて若手技術者も動員いたしました。

若手技術者達は、被災の大きさを目の当たりにし何を思ったか、何を考えたか、人それぞれあったと思いますが、土木技術者として今後の糧となることを願う次第です。

さて、弊社「NOTE KAIHATSU KOEI」は、本年度第24号を発刊する運びとなりましたが、今年も無事発刊することができました。これも一重に、発注機関関係者の皆様のお蔭です。改めて心より御礼申し上げます。ありがとうございました。

（取締役・社内技術士会会長 野々村清隆）